

**CONTENTS**

- 活動報告・各種会議議事録
- 会員動静
- 学会関連カレンダー
- 「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」のご案内
- 農薬科学研究奨励金制度のご案内
- 日本農薬学会第46回大会のご案内
- 会費の自動引き落とし登録をされている会員の皆様へ

**令和2年度 第1回常任評議員会議事録**

日 時：令和2年7月18日(土) 13:00～16:00

方 法：Web会議

出席者：出席者16名（含第46回大会組織委員会大会委員長，実行委員長），欠席者2名

議事：

- I. 令和元年度第5回常任評議員会議事録の確認，メール審議議事録の確認
  - ・メール審議議事録（2件：小集会のセミナー・シンポジウム開催についてのお願い，国際会議等派遣研究者の選考について（2件の承認があったが会議延期のため申請者により取消）を確認した。
  - ・日本農薬学会第46回評議員会議事録を確認した。
  - ・日本農薬学会第45回通常総会議事録を確認した。
- II. 経過報告および議案
  1. 財務関係
    - ・収支予算管理（令和2年1月1日から6月30日まで）について報告があった。
    - ・第45回大会収支決算状況報告書について承認した。
    - ・オンラインクレジット決済契約完了について報告があった。
  2. 編集委員会
    - ・JPSのオープンアクセス化の手続き完了について報

告があった。

- ・JPSの論文採択率が30%，ダウンロード数が12000件/月であることが報告された。
  - ・JPSはオンラインのみで発行し，各記事1ページ目をカラー化することが報告された。
3. 学術・技術支援委員会
    - ・新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み，農薬残留分析セミナーの開催を中止し，Webや学会ホームページを利用した活動に注力するとの方針が説明された。
    - ・今年度の農薬残留分析セミナーの開催中止の説明を受け，承認した。
  4. 将来計画委員会
    - ・会費の値上げ，学会の国際化，評議員の若手・女性枠の新設などの意見が出されたことが報告された。
  5. 学会賞受賞者選考委員会
    - ・今年度の選考スケジュール等が確認された。
  6. 選挙管理委員会
    - ・第1回選挙管理委員会について報告があった。
    - ・日本農薬学会役員選出規定の第10条に，会長，副会長，監事の得票が投票総数の過半数を超えなかった場合の再投票について追加する改正が緊急を要する要件として承認された。
  7. 農薬科学研究奨励金
    - ・来年度1件上限50万円，総額150万円の予定で実施することを承認した。
  8. 日本植物防疫協会
    - ・業務委託に向けた進捗について報告があった。
  9. 昆虫科学連合，植物保護科学連合
    - ・昆虫科学連合について，国際会議の延期，代表交代，植物保護科学連合について，シンポジウムの中止の報告があった。
  10. 公益財団法人農学会
    - ・農学進歩賞への候補者推薦について報告があった。
  11. 一般社団法人日本農学会
    - ・日本農学賞選考の今後の予定について報告があった。
  12. 研究会の後援・協賛
    - ・協賛予定の報農会シンポジウムの中止について報告

- があった。
13. 第46回大会関係
    - ・常任評議員会、編集委員会、評議員会、総会のスケジュールについて検討した。
    - ・受賞講演、特別講演、一般講演、シンポジウムの発表方法について検討した。
    - ・祝賀会の開催方法について検討した。
    - ・予算案について報告があった。
  14. 入退会の報告
    - ・正会員8名の入会が承認された。
  15. その他
    - ・ホームページの更新方法について検討した。

### 令和2年度 学術小集会委員長との懇談会 議事録

日 時：令和2年9月12日(土) 15:30～17:00  
方 法：Web会議  
出席者 20名(学術小集会代表者7名, 常任評議員13名)

#### 議事：

1. 2019年度の学術小集会活動について報告があった。
2. 今後の活動方針
  - ・農薬残留分析研究会より11月5日～6日に予定されているシンポジウムのオンタイム Web 開催についての報告があった。
  - ・農薬製剤・施用法研究会より第40回シンポジウムを2021年に延期するとの報告があった。
  - ・農薬環境科学研究会より第30回研究会を2021年に延期するとの報告があった。
  - ・農薬生物活性研究会より9月18日に予定されているシンポジウムのオンライン開催についての報告があった。
  - ・農薬デザイン研究会より第35回研究会を2021年に延期するとの報告があった。
  - ・農薬レギュラトリーサイエンス研究会より第28回研究会を2021年に延期するとの報告があった。
  - ・農薬バイオサイエンス研究会より、第45回大会中に開催予定だった第18回研究会はみなし開催となったこと、第19回研究会(植物化学研究会と共催)を2021年11月に延期することについて報告があった。
3. 小集会から常任評議員会への連絡・要望など
  - ・小集会委員会開催用 Web 会議システムを学会で契約して欲しいとの要望があった。
4. 常任評議員会から小集会への連絡・要望など
  - ・小集会延期に伴う予算変更について、承認されたことが報告された。

- ・学会誌への寄稿(シンポジア)の依頼があった。
- ・農薬科学研究奨励金申請課題の一次審査を小集会委員にお願いしたいとの要望があった。
- ・講演要旨データベース用のデータ提供の依頼があった。
- ・小集会シンポジウムにおける学会入会勧誘、論文投稿依頼、農薬を知ろう Web サイトの紹介依頼があった。

### 令和3年度学会賞受賞者選考委員会 第2回委員会議事録

日 時：令和2年9月26日(土) 13:00～15:00  
場 所：オンライン会議  
出席者：14名

#### 議 事：

1. 選考委員の2/3以上が出席していることから、選考委員会は成立していることを確認した。
2. 推薦のあった奨励賞、業績賞(研究)、業績賞(技術)の各候補について、選考に関する内規に基づいて厳正に選考を行い、奨励賞2件、業績賞(研究)3件、業績賞(技術)1件の授賞候補を決定した。
3. 論文賞については、学会誌編集委員会より推薦のあった論文を授賞候補とすることを決定した。
4. 今後、上記授賞候補に対して、評議員による授賞可否投票の手続きに入る。

### 会 員 動 静

(令和2年7月11日～令和2年8月31日)

#### 入会

##### 正会員

手銭 良太郎 安部 潤

(受付順)

#### 退会

##### 終身会員

小林 登

##### 正会員

田代 恵介

##### 学生会員

レホアン トウ 松原 正幸

### 学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催、共催、協賛、後援する会議等

**2020年**

12月

(開催延期) 4日(金) 第28回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

主 催：日本農薬学会，農薬レギュラトリーサイエンス研究会  
※「北とぴあ つつじホール（東京都北区）」において開催予定でしたが，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，2021年に延期します。

U R L：http://pssj2.jp/committee/regulatory.html

**2021年**

3月

8日(月)～10日(水) 日本農薬学会第46回大会

主 催：日本農薬学会  
会 場：東京農工大学府中キャンパス [〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8]

U R L：http://pssj2.jp/

10日(水) 第19回農薬バイオサイエンス研究会（第46回大会と共催でシンポジウムを開催）

主 催：日本農薬学会，農薬バイオサイエンス研究会  
会 場：東京農工大学府中キャンパス [〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8]

U R L：http://pssj2.jp/

10月

28日(木)～29日(金) 第38回農薬環境科学研究会

主 催：日本農薬学会，農薬環境科学研究会  
会 場：アリストンホテル神戸 [〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-1]

U R L：http://pssj2.jp/committee/environment.html

11月

18日(木)～19日(金) 第44回農薬残留分析研究会

主 催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会  
場 所：福井県福井市

U R L：http://pssj2.jp/committee/residue.html

## 「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」のご案内

日本農薬学会では、精度の高い残留農薬分析を実施する上で特に配慮すべき事項を「Q & A」形式に取りまとめた「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ」を出版しています。2003年に初版を発行以来、好評を博して改訂を重ねてまいりましたが、最新の改訂4版では、前3版出版以降の農薬登録制度の動向を反映させ、最新の科学的知見を盛り込むよう全文の見直しを行ったうえで、初学者の方にも、より読みやすくなるよう心がけて内容を再整理しました。また、携行性を高めるために軽量化を図りました。前版と同様に残留農薬分析の基本やノウハウを得るための参考書として、さらに、食の安全に関心をお持ちの幅広い方々に対しても、農薬の規制についての理解の一助となるようお役立て頂けると幸いです。定価は3,000円です（送料別）。

購入申込み方法：

メールまたはFAXにて、以下の日本農薬学会事務局に氏名、所属、メールアドレス、電話番号、送付先住所、購入冊数（FAX申込みの場合はFAX番号）等をご連絡下さい。また、メール等の件名には「問答あれこれ購入」と記入して下さい。折り返し請求書（送料を含む）を同封し発送しますので、振込みをお願いします。詳細は、学会ホームページもご参照ください。

日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号 日本植物防疫協会内

FAX: 03-5980-0282

MAIL: nouyaku@pssj2.jp

学会HP: [http://pssj2.jp/overview/book\\_zanryu.html](http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html)

※平成30年の農薬取締法改正に伴い更新が必要となった記事を新旧対照表として取りまとめました（令和2年4月1日適用分対応）。学会ホームページ上（[http://pssj2.jp/overview/book\\_zanryu.html](http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html)）で公開していますので、ご参照ください。

## 農薬科学研究奨励金制度のご案内

日本農薬学会では、農薬科学研究の支援を目的として、特に競争的資金の獲得が難しい研究課題や研究者の方々にも利用して頂けるよう農薬科学研究奨励金（1件上限50万円、総額150万円を予定）の交付を行っています。現在令和3年度分の申請を受け付けていますので、学会ホームページ（<http://pssj2.jp/inside/grant20.html>）をご参照のうえ、日本農薬学会事務局にご連絡ください。なお、応募締め切りは、令和2年11月30日（当日消印有効）です。

過去の採択課題：[http://pssj2.jp/inside/past\\_grant.html](http://pssj2.jp/inside/past_grant.html)

## 日本農薬学会第46回大会のご案内

日本農薬学会第46回大会を、2021年（令和3年）3月8日（月）から3月10日（水）までの3日間にわたって開催いたします。本大会は新型コロナウイルス感染を考慮して、東京都府中市（府中市立府中の森芸術劇場）を会場とする対面形式（限定参加人数）と、オンラインによるライブとオンデマンド配信を主体としたハイブリッド形式で行います。本学会員ならびにご関心をお持ちの皆様には、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。植物防疫関係2学会（日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会）および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方は、例年通り、本学会会員扱いとなりますので、お近くの学会員の方にも参加・発表をお誘いいただければ幸いです。また、非会員の方のご参加も歓迎いたします。

大会関係の記事は、PSSJ News Letterにてご案内致しますが、詳細は大会ホームページで随時お知らせいたしますのでご確認ください。本大会において、講演要旨は電子媒体PDFとして配信し、印刷物の配布は行いません。

- News Letter 2020年第4号（令和2年11月20日発行）：大会案内、一般講演申込み要領、事前割引登録要領
- 日本農薬学会誌46巻1号（令和3年2月20日発行）：大会日程、プログラム、会場案内

### I. 開催場所と方式

総会、学会賞授賞式

会場 『府中市立府中の森芸術劇場ふるさとホール』で開催（250名迄）。

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/theater/1000160/1000184.html>

ライブ配信：URL, ID, パスワードは後日通知します。

京王電鉄をご利用の場合、京王線「東府中」駅より徒歩3分。

受賞者講演, 特別講演

オンデマンド：URL, ID, パスワードは後日通知します。

懇親会, 祝賀会

開催中止です。

一般講演, シンポジウム, ランチョンセミナー

URL, ID, パスワードは後日通知します。講演後にオンラインまたはチャットによる質疑応答時間を確保する予定です。尚、展示会は実施会場がございませんが、ご希望の方は大会組織委員会にお問い合わせください。

## II. 会期および日程：令和3年3月8日(月)～10日(水)

月・日	午前	昼	午後	会場
3月8日(月)			総会, 授賞式 <sup>※</sup> 受賞講演, 特別講演	府中芸術の森劇場ふるさとホール(250名迄)とオンタイムのハイブリッド
3月9日(火)	一般講演	ランチョンセミナー	一般講演 シンポジウム	オンデマンド, チャット
3月10日(水)	一般講演	ランチョンセミナー	一般講演 シンポジウム	オンデマンド, チャット

※授賞式は、令和2年度、令和3年度の受賞者を対象として行います。授賞式の後、受賞者にショートトーク(5分間)を戴く予定です。

常任評議員会は3月7日(日)に、評議員会と編集委員会は、3月8日(月)午前中に実会場の府中芸術の森劇場『ふるさとホール』とオンライン中継で開催します。URL, ID, パスワードは後日通知します。

### 重要な締切日

一般講演申込期限 令和3年1月12日(火)(延長の場合は1月20日(水))

講演要旨原稿提出期限 令和3年1月12日(火)一般講演申込期限と同日ですのでご注意ください。

事前参加登録期限 令和3年2月1日(月)

## III. 特別講演およびシンポジウム

### 1. 特別講演

(1) 「つくる責任つかう責任」と有機合成反応  
千葉一裕(東京農工大学・学長)

(2) (調整中)

### 2. シンポジウム

(1) 「生物制御科学の未来を拓く～農薬科学の新展開への挑戦～」(仮題) 令和3年3月9日(火) 午後  
オーガナイザー：豊田剛己・有江 力

「ハダニにおける environmental RNAi の学理構築と防除への応用」

東京農工大学大学院生物システム応用科学府 鈴木丈詞

「チャバネアオカメムシの発生量予測とビワ二重果実袋による防除効果～メタアナリシスを活用した新たなEBC～(仮)」

千葉県農林総合研究センター 清水 健

「共生微生物を利用した害虫管理への展望」

東京農工大学大学院農学府 井上真紀

「海洋付着生物に対する環境調和型付着防汚剤の開発」

東京農工大学大学院農学府 北野克和

「プラントアクチベーターによる植物ウイルス防御策」

東京農工大学大学院農学府 小松 健

「植物の乾燥ストレス応答を制御する分子開発」

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター 岡本昌憲

「コケから顕花植物への進化から成長制御物質の生合成と機能を追う」

東京農工大学大学院農学府 川出 洋

#### IV. ランチョンセミナー

各ランチョンセミナーはオンデマンド配信されます。3月9日(火) 12:00-13:00, 3月10日(水) 12:00-13:00にオンライン又はチャットによる交流の機会を準備します。

農薬工業会 (定員300名)

日本チャールス・リバー株式会社 (定員300名)

その他調整中

#### V. 一般講演申込 (一般講演申し込み締切日: 令和3年1月12日(火)) (延長の場合は1月20日(水))

一般講演要旨提出は、本学会会員 (および冒頭で記載した4学会の会員) で令和3年度分会費納入者に限ります。受付は全てWeb上で行います。一般講演を申し込まれる場合は、1演題ごとに発表代表者が次の1~3を行ってください。

1. 日本農薬学会の大会ホームページにアクセスして、参加申込ボタンをクリックします。会員の方は会員番号とパスワードで認証を行い、在籍状態を確認します。
2. 農薬学会会員の方は、氏名、E-Mailアドレス、申込区分、ご所属、要旨集送付先住所 (学会誌送付先) が自動入力されます。「送信」ボタンを押すと、未入力項目のチェックを行い、問題がなければ確認メッセージのポップアップが表示されます。送信確認のポップアップで「OK」ボタンを押すと参加申込が完了し、大会マイページのURLと受付番号、パスワードがメール通知されます。
3. 大会マイページにログインして、参加申し込み内容、演題申し込み、参加費お支払い状況、講演プログラムなどについて、入力、ご確認が出来ます。(要旨提出締切: 令和3年1月12日(火)、詳しくは、「VI. 講演要旨原稿の作成について」の項をご覧ください。)

#### ※一般講演申込の入力内容について

一般講演申込においては、

- (1) 演題名、(2) 発表者氏名 (連名の場合は共同発表者全員をご登録ください。また、発表者区分の項目で、発表代表者または共同発表者の別を明らかにしてください)、(3) 分類 (下の分類表I, およびIIから選択、記入例: 第1希望B-1, 第2希望E-5)、(4) 代表者の会員番号をそれぞれご入力ください。※期限を過ぎると、これらの内容は変更できません。
- (3) の分類は、プログラム編成のために使用します。下記の分類表IとIIを組み合わせた記号で希望分野をご記入ください。
- (4) の会員番号は、学会誌が送付された封筒の氏名欄右下に記された6桁の数字です。会員用「お知らせメール」にも記載されています。不明の場合は、日本農薬学会事務局 (nouyaku@pssj2.jp) にお問合せください。

分類I	分類II
A 分子設計	1 殺虫剤
B 天然物化学	2 殺菌剤
C 合成プロセス, グリーンケミストリー	3 除草剤
D 作用機構, 抵抗性	4 植物生長調節剤
E 生物活性, 検定法	5 防疫薬
F 代謝, 分解, 動態	6 生物農薬
G 製剤, 施用法	7 環境化学物質
H 残留, 分析法	8 その他 (簡単な内容をご記入ください)
I 環境科学, 生態影響	
J 毒性	
K 遺伝子科学	
L レギュラトリーサイエンス	
M その他 (簡単な内容をご記入ください)	

## VI. 講演要旨原稿の作成について

講演要旨原稿は紙媒体をえません。『一般講演要旨原稿テンプレート』を大会ホームページからダウンロードし、上書きすることにより要旨原稿を作成してください。作成した要旨のWordファイルおよびそれをPDF化したファイルを、大会マイページの「演題申込」からアップロードすることにより提出していただきます。原稿はそのまま大会事務局で要旨集としてまとめます。

1. 要旨原稿はMicrosoft Word for WindowsもしくはMicrosoft Word for Macにて、『一般講演要旨原稿テンプレート』に上書きして作成してください。図表を挿入しても差し支えありません。なお、1演題につき用紙1枚に限ります。要旨原稿作成にあたっては、要旨記入例を参照ください。
2. 書式（一般講演要旨原稿テンプレートおよび要旨記入例を参照）
  - a. A4版用紙を用い、上下25 mm、左右20 mmを余白とした枠内に記入してください。
  - b. 演題および氏名（所属）を最上部に書き、左側には25 mm（余白と合わせて45 mm）の空白を設けてください。発表者が連名の場合には、講演者の前に○印を付けてください。
  - c. 演題・氏名（所属）・要旨本文および脚注を、それぞれ改行してこの順に書いてください。氏名（所属）と要旨本文の間には、空白行を1行設けてください。
  - d. 全行数（演題、氏名、脚注などを含む）は36行程度で書いてください。
  - e. 要旨本文は、目的・方法・結果および考察に分けて、具体的に書いてください。特に、結果および考察については、その内容を把握できるようにしてください。
  - f. フォントは12ポイントで、演題は太字にしたゴシック体（「MSPゴシック」を推奨）を、それ以外は明朝体（「MSP明朝」を推奨）を使用して下さい、数字やアルファベットは原則として半角文字を使ってください。
  - g. 枠内の最下部から30 mmまでの領域内に、脚注として英文による演題と氏名（所属）を書き込んでください。
  - h. 英文で記述する場合は、フォントにできる限り「Times New Roman」を用い、上記の様式に準じてください。
3. 要旨原稿ファイルは、WordファイルおよびそれをPDF化したファイルの両方で提出していただきます。PDF化に際しては、図表に十分な解像度があるか、文字化けはないか発表者自身で確認してください。
4. ファイル名はそれぞれ（氏名の半角英小文字.doc）、（氏名の半角英小文字.pdf）としてください（「農工太郎」の場合は、noukoutarou.docとnoukoutarou.pdfとなります）。
5. 大会講演要旨集に掲載された各要旨の著作権（複製権、公衆送信権を含む）は、日本農薬学会に帰属しますので、必ず「共著者全員の同意のもと承認します」の承認ボタンにチェックを入れてください。

## VII. 一般講演について

- (1) 発表1題につき1つのファイルを作成し、ファイル名は講演番号\_講演者名（半角英数のみ使用）、mp4としてください。  
例：A101\_noukoutarou.mp4
- (2) 講演時間は1題12分（講演12分）です。12分の発表時間に適したスライドの枚数にしてください。
- (3) スライド中に使用するフォントは、文字化けを防ぐために機種依存文字（①、（株）など）の使用は、極力避けてください。
- (4) 本大会はオンデマンド形式で実施します。Zoomまたはパワーポイントなど利用して説明付動画を録画して、大会マイページよりプログラムにドラッグで登録します。参加者はプログラムからクリックで視聴できる予定です。以下にパワーポイントをご使用される場合の動画（MP4ファイル）作成手順を記します。①パワーポイントのスライドショーをクリック。②スライドショーの記録をクリック。③現在のスライドから記録をクリック。④録画ボタンを押して、録画開始。⑤録画終了後、自動保存されるので、保存状態を確認する。⑥ビデオ形式（MP4）保存手順（一）ファイルからエクスポートをクリック。（二）ビデオの作成をクリック。（三）HD70（720P）をクリック。（四）ビデオの作成をクリックする。
- (5) 作成されたファイルはZoomやPowerPointでスムーズに動画再生ができることを確認してください。

## VIII. 参加登録（事前参加登録期限は令和3年2月1日（月）まで）

事前登録割引は令和3年2月1日（月）で終了しますが、2月26日（金）まで、Webで事前参加登録ができます。日本農薬学会の大会ホームページにアクセスして、参加申込ボタンをクリックします。会員の方は会員番号とパスワードで認証を行い、在籍状態を確認します。農薬学会会員の方は、氏名、E-Mailアドレス、申込区分、ご所属、要旨集送付先住所（学会誌送付先）が自動入力されます。「送信」ボタンを押すと、未入力項目のチェックを行い、問題がなければ確認メッセージのポップアップ

プが表示されます。送信確認のポップアップで「OK」ボタンを押すと参加申込が完了し、大会マイページのURLと受付番号、パスワードがメール通知されます。大会マイページにログインして、参加申し込み内容、参加費お支払い状況、講演プログラムなどについて、入力、ご確認が出来ます。

※支払いはクレジットカード・コンビニ決済もしくは銀行振込となっております。公費・校費による支払いはお受けできません。

1. 事前登録割引：令和3年2月1日(月)までとさせていただきます。これ以降は、下記の参加費に変更されますのでご注意ください。スムーズな大会運営のため、事前登録割引にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。一般講演を行わない参加者の方も、事前登録にご協力ください。

		参加登録費	備考
大会参加費 (講演要旨集1部の代金含む)	正会員	6,000円	2月2日(火)以降は8,000円
	学生会員	2,000円	2月2日(火)以降は3,000円
	非会員	8,000円	2月2日(火)以降は10,000円
	講演要旨集のみ	3,000円	PDF配布

※植物防疫関係2学会（日本植物病理学会・日本応用動物昆虫学会）および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方も本学会会員と同じ参加費です。

2. いったん納入された参加登録費は返金いたしません。
3. 大会参加登録費用に相当する領収書（参加登録費）は、大会マイページから印刷できます。

日本農薬学会第46回大会組織委員会  
住所：〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8  
東京農工大学大学院 農学研究院  
TEL: 042-367-5692  
E-mail: arie@cc.tuat.ac.jp  
担当：有江 力

## 会費の自動引き落とし登録をされている会員の皆様へ

2021年度会費を、2020年12月7日(月)に引き落としいたします。前日までに指定口座へのご入金をよろしくお願いいたします。

※2021年度分の自動引き落としの申込は締め切りました。2022年度分より自動引き落としを希望される方は学会事務局までご連絡ください。

日本農薬学会事務局：  
〒114-0015 東京都北区中里2-28-10 日本植物防疫協会内  
E-mail: nouyaku@pssj2.jp

発行所：日本農薬学会  
〒114-0015 東京都北区中里2-28-10  
一般社団法人日本植物防疫協会内  
FAX: 03(5980)0282  
E-mail: nouyaku@pssj2.jp